



愛知県立大学
Aichi Prefectural University
不安と生の研究会

2026 年度 愛知県立大学「不安と生の研究会」主催講演会
「不安」から照らす「生」の諸相 ことば・こころ・肉体・・・



問い合わせ先 愛知県立大学「不安と生の研究会」
kendaifs2026@gmail.com

モード誌

スタイル

協力：公益財団法人上廣倫理財団 愛知県立大学全学同窓会
和田博文氏（東洋大学名誉教授）

モダニズムの時代から戦時下へ

と 宇野千代

二〇二六年十二月六日（日）十三時三十分～十五時三十分
愛知県立大学長久手キャンパスS101教室&On-line
要事前申込 ▼申込締切二〇二六年十二月四日（金）まで

■交通アクセス

リニモ「愛・地球博記念公園（愛知県立大学前）」駅下車 徒歩約5分

■長久手キャンパス図書館 企画展示

「不安」から照らす「生」の諸相 × 宇野千代 ― モダニズムの時代から戦時下へ

2026 年 11 月 9 日（月）～12 月 11 日（金）※土日休館 入場無料／会場 長久手キャンパス図書館 1 階ロビー

開館時間 9:00～20:00（11/9～30）、9:00～20:30（12/1～11）（※学術講演会の当日 12/6（日）は部分開館 11:00～16:00）

企画展示に関するお問い合わせ先 ▶愛知県立大学長久手キャンパス図書館 Eメール：etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp

【対面】



【On-line】



企画趣旨

国内外にわたるモダニズム研究の第一人者として名高い和田博文東洋大学名誉教授を招き、最新の研究成果（『モード誌と戦争—宇野千代が『スタイル』で描いた夢』2025.3 平凡社）である宇野千代と彼女の主宰した戦時下のモード誌をとおして、困難な時代の中で、人々が潤いをみずから創出し、保持しながら生きてゆくことの様相と意義を照らす。

折しも、2026 年は戦後 80 年を経過した年であるのに加え、宇野千代を主人公とした「NHK 2026 年度後期・朝の連続ドラマ小説・ブラッサム」の放映が決定、さらに、愛知県西尾市出身で知られる文豪尾崎士郎が伴侶であったこともあり、地域の関心喚起とともに、不安と困難に拮抗する、しなやかで美しく、活気あるひとの生き方や文化へのいざないとしたい。

愛知県立大学「不安と生の研究会」

和田博文氏 略歴

1954 年横浜市生まれ。東洋大学名誉教授。東京女子大学で副学長・比較文化研究所長・丸山眞男記念比較思想研究センター長を歴任。専門は文化史・比較文化・日本近現代文学。ロンドン大学 SOAS、パリ第 7 大学、復旦大学大学院の客員研究員や客員教授を務めた。

著書に『漫画家が見た百年前の西洋—近藤浩一路『異国膝栗毛』の洋行』（筑摩選書）、『日本人美術家のパリ 1878-1942』（平凡社）、『三越誕生!—帝国のデパートと近代化の夢』（筑摩選書）、『海の上の世界地図—欧州航路紀行史』（岩波書店）、『シベリア鉄道紀行史—アジアとヨーロッパを結ぶ旅』（筑摩選書、交通図書賞）、『資生堂という文化装置 1872-1945』（岩波書店）、『飛行の夢 1783-1945—熱気球から原爆投下まで』（藤原書店）など。

編著に『石の文学館』『森の文学館』『星の文学館』『月の文学館』『猫の文学館Ⅰ・Ⅱ』（以上、ちくま文庫）、『近現代日本思想史「知」の巨人 100 人の 200 冊』（平凡社新書、共編）など。

監修に『コレクション・モダン都市文化』全 100 巻（ゆまに書房）、『ライブラリー・日本人のフランス体験』全 21 巻（柏書房）、『コレクション・日本シュールレアリスム』全 15 巻（本の友社）など。

（『モード誌と戦争—宇野千代が『スタイル』で描いた夢』2025.3 平凡社 より）

■「不安と生の研究会」は 10 周年を迎えました。

10 周年記念企画「ひろがる、愉しみ。十年目の「不安」と「生」の模様を、
本学 HP にて公開しています。ぜひ、ご覧ください。

「愛知県立大学 「不安と生の研究会」 10 周年記念動画」

<https://www.youtube.com/@AichiPrefecturalUniv/videos>



不安と生の研究会